

第2回 県立高等学校改革懇談会 『いわき総合・好間』

日時：令和4年11月28日（月） 15：00～16：30

場所：好間高等学校 視聴覚室

福島県教育委員会

本日の内容

1	第1回懇談会で示した いわき総合・好間統合校の方向性と いただいたご意見について
2	いわき総合・好間統合校の 教育内容等の検討状況について
3	スケジュールについて

1 第1回懇談会で示した
いわき総合・好間統合校の方向性と
いただいたご意見について

統合校の概要

いわき総合高校

定員200名
○ 総合学科（5学級）

好間高校

定員80名
○ 普通科（2学級）

令和7年4月開校予定

いわき総合・好間統合高校（仮称）

定員：240名 総合学科6学級

場所：いわき総合高校校舎

統合校の方向性

いわき総合・好間統合高等学校

キャリア指導推進校として、大学進学や就職など、幅広い生徒の進路希望や生徒の学習ニーズに対応した教育活動の充実を図り、地域を支える核として社会に貢献できる人材を育てる学校

- いわき総合の取組を継承し、高大連携による授業の実施等により、生徒の学びを深める教育活動の充実を図ります。
- 好間の取組を継承し、丁寧な学習指導により基礎学力の着実な定着を図ります。

検討する統合校の特色化

生徒の学習ニーズや進路
希望に合わせた多様な
科目群（系列）の設置

個に応じた丁寧な
学習指導や進路指導

芸術・表現系列に
おける高い水準の
教育内容の実践

主体的・対話的で
深い学びの実現

SDGsの視点を取
り入れた
学習の実践

大学等との連携

資格取得、検定合格
への支援の充実

いわき総合・好間統合高等学校

開校年度(令和7年度)のイメージ

統合高校を卒業

3年生

(令和5年 いわき総合高校に入学)

現中学3年生

3年生

(令和5年 好間高校に入学)

2年生

(令和6年 いわき総合高校に入学)

現中学2年生

2年生

(令和6年 好間高校に入学)

1年生

(令和7年 統合高校に入学)

現中学1年生

新しいカリキュラム

いわき総合高校の
カリキュラム

好間高校の
カリキュラム

第1回県立高等学校改革懇談会でいただいた主な御意見

① 統合後の在校生へのケア

- ・好間高校の生徒たちの中には、統合によって通学する校舎が変わるなど環境の大きな変化に対応できないことが危惧される。

② 統合校の教育内容、魅力化・特色化

- ・地域の子どもたちや地元産業の声を聞きながら、地域の特性も取り入れた特色化を図ってほしい。
- ・生徒が地元根付くような人材育成が大切である。

2

いわき総合・好間統合校の 教育内容等の検討状況について

校舎方式の採用

校舎方式とは

統合する2校を統合時に一方の校舎に集約するのではなく、生徒が統合前に入学したそれぞれの高校の校舎で卒業まで学ぶことができるようにする学校の運営方式。



統合校本校舎（いわき総合高校校舎）

統合前 (R6)	在校生 1年生	在校生 2年生	在校生 3校時
統合1年目 (R7)	統合校 1年生	在校生 2年生	在校生 3年生
統合2年目 (R8)	統合校 1年生	統合校 2年生	在校生 3年生
統合3年目 (R9)	統合校 1年生	統合校 2年生	統合校 3年生

統合校好間校舎（好間高校校舎）

在校生 1年生	在校生 2年生	在校生 3校時
	在校生 2年生	在校生 3年生
		在校生 3年生

交流会、合同行事
を実施

卒業まで、
学習環境を維持

メリット

生徒は卒業までそれぞれの校舎において、それまで通りの環境で活動できる

中学生や地元産業のニーズを把握する機会

統合を考える中高交流会を開催

期 日：令和4年10月14日（金）

会 場：いわき総合高校

参加者：

内郷第一中学校

内郷第二中学校

内郷第三中学校

好間中学校

一校あたり2～3名の代表者

いわき総合高校の生徒会



「理想の高校」とは



アンケート結果より

「興味のある科目は？」

- ・ 大学進学のための5教科（29%）
- ・ 医療・看護に関する専門科目（11%）
- ・ 体育・スポーツに関する専門科目（17%）
- etc.

科目群、選択科目を設定する参考とします。

ワークショップから

- ・ 学校行事が多い学校！
- ・ 地域と連携している学校！
- ・ 品揃えの良い購買部！
- etc.

教育課程検討の参考にします。

中学生や地元産業のニーズを把握する機会

好間町商工会・内郷商工会との意見交換

地元商工会といわき総合高校との懇談

令和4年10月12日（水）

会場：いわき総合高校

地元商工会訪問

令和4年10月14日（金）

会場：好間町商工会、内郷商工会

主な御意見

- ・ 新たな統合校と連携することは可能であるので、高校から要望があれば、商工会が連携して実施していきたい。
- ・ 統合校は、魅力ある学校にしてほしい。例えば、キャリア教育を充実させ、プレゼンテーション能力の育成、パソコン技術の向上など、即戦力としての人材育成を期待する。
- ・ 企業と学校の連携については、どのような連携ができるか検討したい。

統合校の教育内容の一つとして、今後の教育課程検討の参考にします。

いわき総合・好間統合高等学校（仮称）

教育目標・方針（案）

多様性を
尊重する
精神

社会の形成者として有為な人材の育成

実践する力

すぐれた
知性

豊かな情操

心身の健康

挑戦する
強い意志

総合学科の学びと育てたい生徒像

「産業社会と人間」
「総合的な探究の時間」
「課題研究」

これらを通して生徒を育成

- 主体的に行動する生徒
- 多様な他者と協働できる生徒
- 高いコミュニケーション力のある生徒

検討する統合校の特色化

1

生徒の学習ニーズや進路
希望に合わせた多様な
科目群（系列）の設置

2

個に応じた丁寧な
学習指導や進路指導

3

芸術・表現系列
における高い水準
の教育内容の実践

4

SDGsの視点を取
り入れた
学習の実践

5

大学等との連携

6

資格取得、検定合格
への支援の充実

主体的・対話的で
深い学びの実現

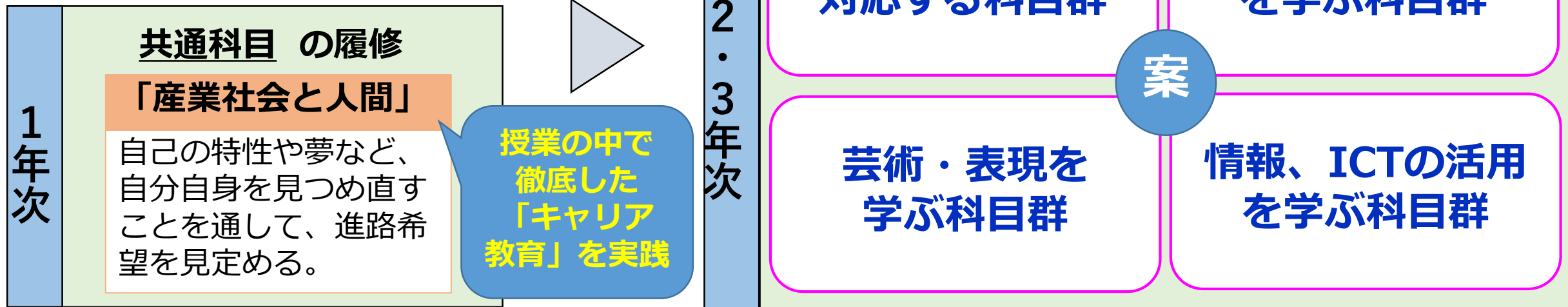
1 生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置

キャリア指導推進校として、

生徒の幅広い進路希望や生徒の学習ニーズに対応した教育活動の充実

- ・国公立をはじめとする四年制大学・短期大学への進学
- ・看護・医療系、各種専門学校への進学
- ・民間企業への就職、公務員

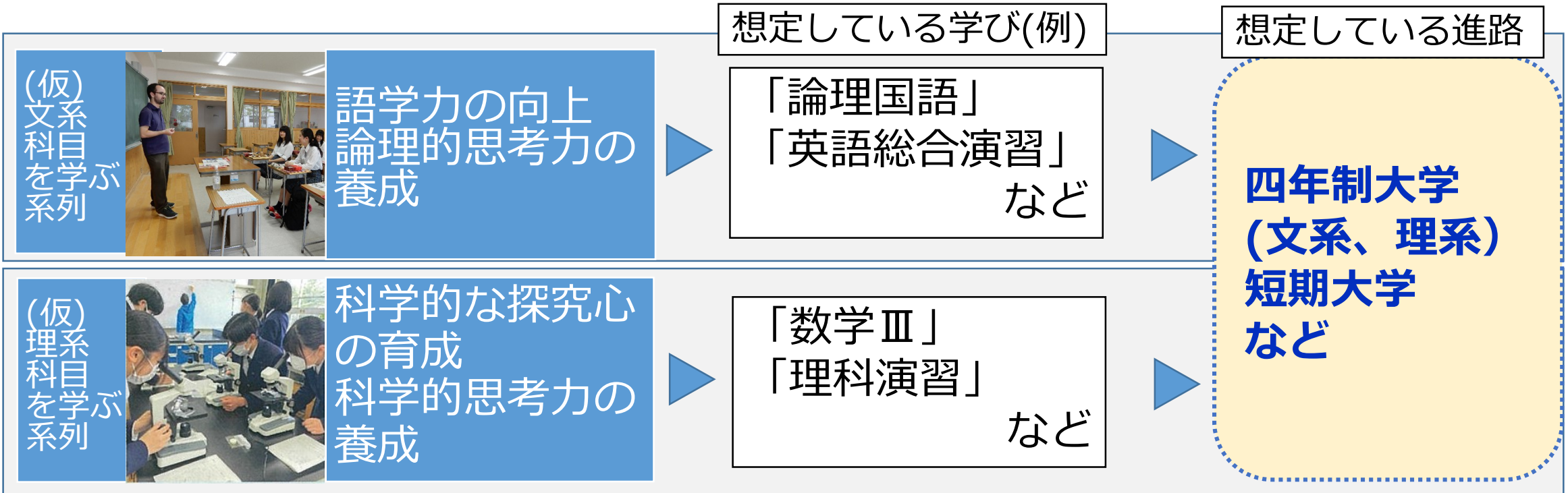
生徒の進路実現に向けた
モデルプランの設定



1 生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置

上級学校進学に対応する科目群

主に国数英理社5教科を中心に学ぶ。
国公立をはじめとした大学、短期大学進学に必要な総合力向上を目指す学び



1 生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置

保健・医療・健康を学ぶ科目群

保健医療関係の基礎知識やスポーツの知識・技能を学ぶ。
 地域に貢献する医療従事者、生涯スポーツの振興に携わる人材に必要な資質・
 能力向上を目指す学び。

想定している学び(例)

想定している進路

(仮)保健医療を学ぶ系列



保健、医療、福祉に関する知識・技能の向上

「基礎看護」
 「介護実習」
 など

四年制大学
 短期大学
 (保健、医療、福祉系)
 看護学校
 専門学校
 公務員
 福祉医療従事者など

(仮)健康を学ぶ系列



スポーツの知識・技能の向上
 健康に関する知識の習得

「スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ」
 「スポーツトレーナー実習」
 など

1 生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置

芸術・表現を学ぶ科目群

高いコミュニケーション力、表現力を磨く専門科目を学ぶ。
演劇、音楽、美術の知識・技能の向上を目指す学び。

想定している学び(例)

想定している進路

(仮)
芸術
表現
を学ぶ
系列



【演劇】 【音楽】
【美術】
の知識、技能の習得
表現力の向上

「演劇総合演習」
「絵画」
「音楽理論」

など

表現とICTのコラ
ボレーション

四年制大学
短期大学
専門学校
(芸術、美術、
音楽系)

など

1 生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置

情報、ICTの活用を学ぶ科目群

情報に関する専門科目を学ぶ。
ICTを駆使し、情報ネットワーク社会で活躍できる基礎知識・技能の向上を目指す学び。

想定している学び(例)

想定している進路

(仮)
情報
ICT
を学ぶ
系列



情報関連技術の習得
ICT機器の活用力の
向上
ICTを活用した表現
技術の習得

「情報テクノロジー」
「コンテンツの制作と
発信」
など

表現とICTのコラ
ボレーション

情報系
四年制大学
短期大学
専門学校
情報関連業務への
従事など

2 個に応じた丁寧な学習指導や進路指導

適性を見極めた進路指導

担任による面接・個別相談

就職促進支援員
職業安定所との連携

上級学校の情報収集

「産業社会と人間」

自己の特性や夢など、
自分自身を見つめ直す
ことを通して、進路希
望を見定める。

授業の中で徹
底した「キャ
リア教育」を
実践

モデルプランの設定

各分野を深く、かつ系統
的に学ぶことができる科
目の組合せを、科目選択
の推奨モデルとして設定

個別最適化された学び

- ・ ICT活用
- ・ チームティーチング授業
- ・ 習熟度別授業 など

きめ細かな学習指導

**進路
実現**

3 芸術・表現系列における高い水準の教育内容の実践

全ての生徒のコミュニケーション力・表現力を高める取組を検討。

高いコミュニケーション力、表現力の育成の推進

【音楽】

音楽表現の良さや楽しさを味わう授業



【美術】

芸術的な創造ができる技能を習得する授業



【演劇】

自己を見つめる姿勢を育てる授業



取組の例

- ・ 情報系列との連携
- デジタルアート制作などICTを活用した表現力向上
- ・ 外部専門家の招聘など

「自分の考えや思いを表現する力」
「他者の考えや思いを理解する力」の育成

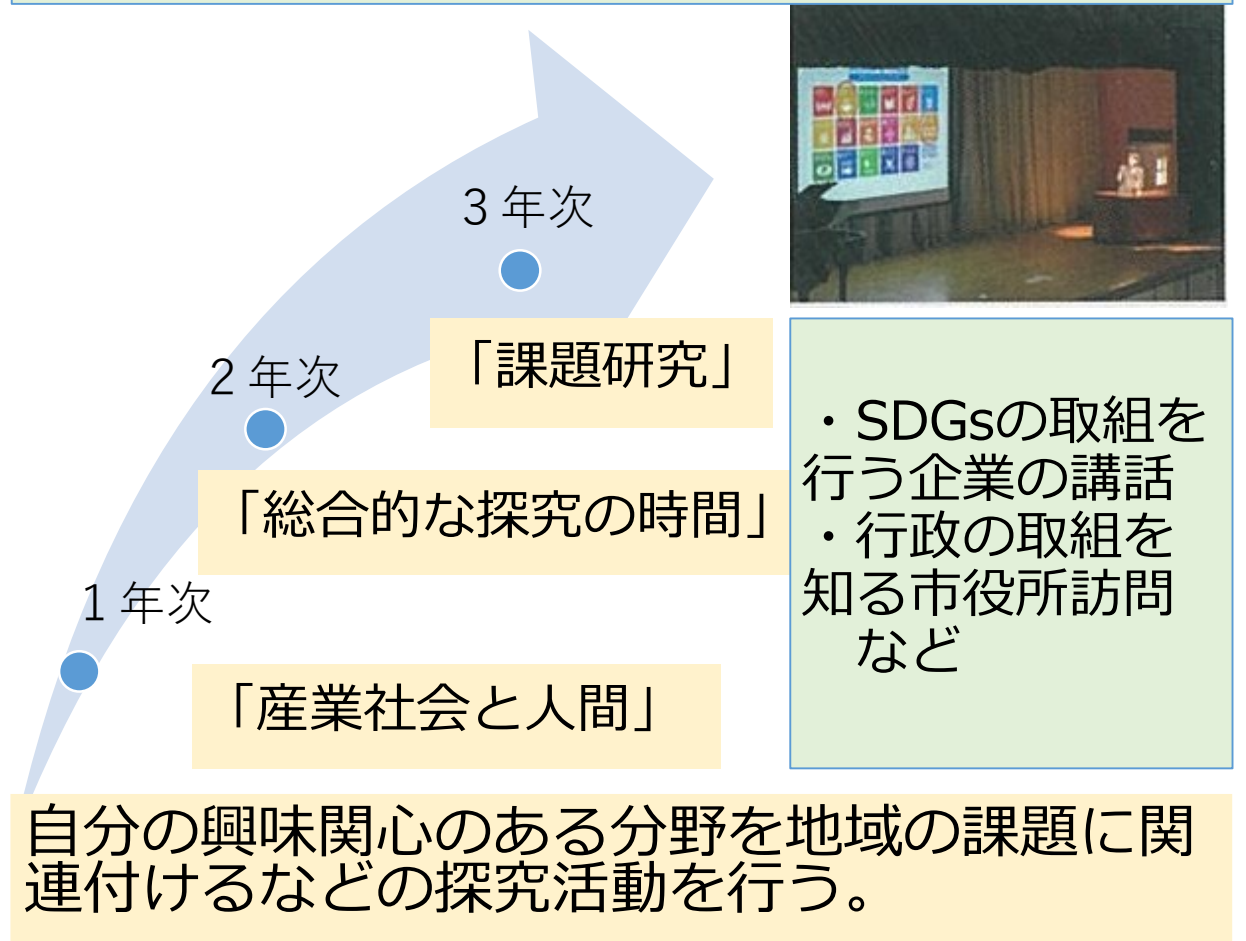
4 SDGsの視点を取り入れた学習の実践

SDGsの視点を取り入れると

社会貢献意識の高揚

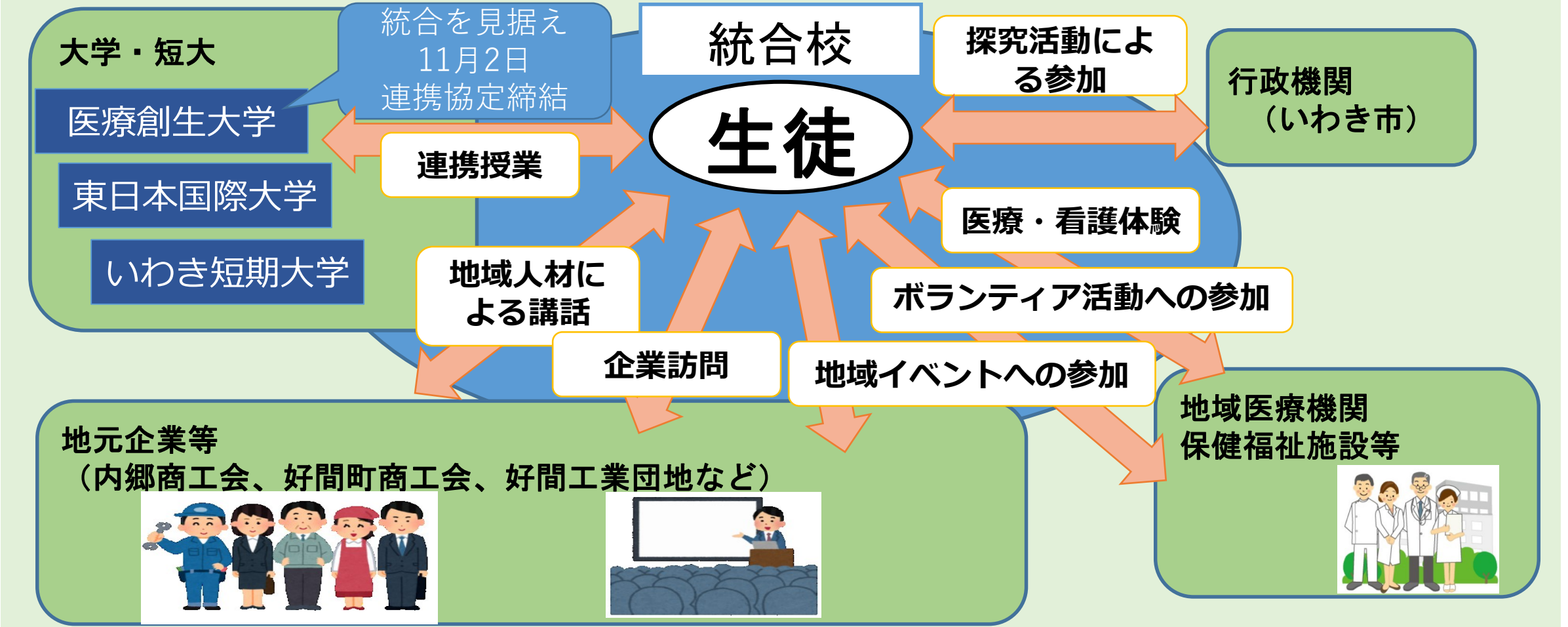


実践の例
地域探究活動（仮称）「探究いわき」



5 大学等との連携

◎ 大学等（地域）との連携（案）



6 資格取得、検定合格への支援の充実

各系列の特色を生かした検定等へ積極的に挑戦

国語	日本漢字能力検定
英語	実用英語技能検定
数学	実用数学技能検定
家庭	全国高等学校家庭科食物調理技術検定 全国高等学校家庭科被服製作技術検定
福祉	介護職員初任者研修、手話検定 認知症ライフパートナー検定 住環境コーディネーター検定
情報	情報処理技能検定 日本語ワープロ検定、文書デザイン検定
	など

キャリア
指導推進校

地域を支える核となって活躍する、社会の形成者として有為な人材

育成したい力

多様な他者と協働できる力

高いコミュニケーション力

主体的に行動する力

上級学校進学に
対応する科目群

国公立大学・短期大学進学
を目指す

芸術・表現を
学ぶ科目群

芸術系大学、専門学校進学
を目指す

保健・医療・健康を
学ぶ科目群

スポーツ系大学、保健医療
福祉系大学、専門学校進学、
地域医療従事者を目指す

情報、ICTの活用を
学ぶ科目群

地元企業就職、情報系大学、
専門学校進学を目指す

コミュニケーション力・表現力を高める学び
大学との連携による専門科目の学び
SDGsの視点を題材とした学び
資格・検定取得の奨励

「産業社会と人間」及び各授業での徹底したキャリア教育

多様な進路希望の実現に向けたきめ細かな学習指導と適性を見極めた進路指導

第7次福島県総合教育計画

学びの変革

個別最適化された学び

協働的な学び

探究的な学び

3

スケジュールについて

令和4年度 (2022年度)					令和5年度 (2023年度)									令和6年度 (2024年度)									令和7年度 (2025年度)						
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
教育目標・教育方針・校訓の検討					魅力化・特色化、教育課程等の検討									ポスターパンフレットの作成・配布															
					統合校の校名検討・決定				統合校の校章、校歌、校旗の検討・決定																				
					中学2年生 保護者 中学教員 対象 説明会 統合時 高校1年生									統合校体験入学 生徒交流会 の実施 中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)									統合校入学者選抜	統合校 開校式 入学式					
					令和5年度(2023年度)入学生 【統合時3年生】現：中学3年生									令和6年度(2024年度)入学生 【統合時2年生】現：中学2年生															